

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第3区分

【発行日】平成16年7月15日(2004.7.15)

【公表番号】特表2000-509663(P2000-509663A)

【公表日】平成12年8月2日(2000.8.2)

【出願番号】特願平9-539860

【国際特許分類第7版】

B 2 4 D 11/00

B 2 4 D 3/00

B 2 4 D 3/28

【F I】

B 2 4 D 11/00 D

B 2 4 D 3/00 3 2 0 A

B 2 4 D 3/28

【手続補正書】

【提出日】平成15年5月6日(2003.5.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成15年 5月 6日



特許庁長官殿

1. 事件の表示

平成09年特許願第539860号

2. 補正をする者

氏名（名称） ミネソタ・マイニング・アンド・
マニュファクチャリング・カンパニー

3. 代理人

住所 〒540-0001
大阪府大阪市中央区城見1丁目3番7号 IMPビル
青山特許事務所
電話 (06) 6949-1261 FAX (06) 6949-0361

氏名 弁理士 (6214) 青山 葦



4. 補正対象書類名 請求の範囲

5. 補正対象項目名 請求の範囲

6. 補正の内容
別紙の通り立
方
案

[別 紙]

請 求 の 範 囲

1. 互いに接着された纖維の不織ウェブであって、前記纖維が第1主ウェブ面と、第2主ウェブ面と、前記第1および第2主ウェブ面の間に延在する中間ウェブ部分とを画定し、前記各々の纖維が表面と長さとを有する、不織ウェブと、前記第1または第2主ウェブ面の少なくとも一方の前記纖維の前記表面に接着され、かつ前記纖維の長さに沿って実質的に均一に分布する複数の研磨粒子であって、前記粒子が約 $60\mu\text{m}$ 以下の中央値粒径を有する粒度分布を構成する複数の研磨粒子と、を含む研磨製品。
2. 前記不織ウェブがロフティであり、かつマークコートが硬化済み熱硬化性接着剤である、請求項1記載の研磨製品。
3. (a) 互いに接着された纖維の不織ウェブであって、前記纖維が第1主ウェブ面と、第2主ウェブ面と、前記第1および第2主ウェブ面の間に延在する中間ウェブ部分とを画定し、前記各々の纖維が表面と長さとを有する、不織ウェブを提供する工程、
(b) 起泡体または発泡体の形のマークコート先駆物質組成物を前記纖維の外面に塗布して第1コーティング層を形成する工程、
(c) 前記起泡または発泡を少なくとも部分的に分解する工程、
(d) 約 $60\mu\text{m}$ 以下の中央値粒径を有する粒度分布を構成する複数の研磨粒子を前記第1コーティング層に塗布する工程、
(e) 前記マークコート先駆物質組成物を少なくとも部分的に硬化する工程、
(f) 任意に前記研磨粒子および第1コーティング層の上をサイズコート先駆物質組成物で塗布する工程、および、
(g) 前記第1および任意の第2コーティング層を硬化して前記研磨粒子を前記不織ウェブの纖維に固定する工程であって、それによって前記複数の研磨粒子が、

纖維の長さに沿って実質的に均一に分布した状態で前記不織ウェブの纖維に固定され、かつ、前記研磨粒子が、前記ウェブの纖維から外側に延在している工程を含む研磨製品の製造方法。

4. 請求項3記載の方法により製造された研磨製品。